

JAきたみらい

おひさま サタダ

2014



vol.137

6

はいっ ポーズ!

《訓子府地区・福野》

谷英美子^{のどか}さんと和佳^{かいせい}ちゃん・快晟^{かいせい}くん

(紹介は2ページです)

特集

●未来をつなぐ 次代の星
～平成26年度 新規就農者紹介～



水稻の移植

季節の薫り



まだ肌寒い風が吹く5月下旬、水田では田植え作業が順調に進む。

ハウス内で今日まで大切に育てられた水稻の苗を、田植機が軽快に移植し、水田一面に緑色の苗がきれいに整列して広がる。

これから9月下旬に迎える収穫に向けて、除草剤散布や水の管理などの作業が続く。

収穫されたもち米は、おこわ、赤飯などの主食を中心に、おかきなどの米菓に姿を変えて全国の消費者のみなさんに届けられる。

(横田 佳織)

5月26日、相内地区・畑中利男さんの水田で撮影。
今年度のきたみらい地域のもち米作付け面積は750㌦で、そのうち相内では236㌦が栽培されています。

もくじ CONTENTS

特集①	未来をつなぐ 次代の星	4
○表紙紹介	「明るく元気に、穏やかに」	2
○季節の薫り		2
○JAきたみらい	ホットライン東西南北	6
○ほのぼのの広場	・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・ブリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいきがし ・読者の声	10
○JAからのお知らせ		14
○おひさまサラダクッキング	「鰯(アジ)のスパゲティ」 「カラフルサラダ」	18

表紙紹介

明るく元気に、穏やかに

まるで真夏のような日和の5月31日。谷さんご家族を訪問すると出迎えてくれたのは、少し照れてる快晟くん(3)、おじいちゃん(58)と、ニコニコ笑顔の和佳ちゃん(1)です。

快晟くんは乗り物が大好きで、おもちゃのトラクターやウンボに乗って家の前を縦横無尽に走り回ります。和佳ちゃんは絵本に夢中で、特に動物が出てくるお話が大のお気に入り。動物園に出掛けたときは、動物そっこので遊具の乗り物に夢中の快晟くんに対し、和佳ちゃんは色々な動物に興味津々。

二人ともおじいちゃんとおばあちゃん大好き。そしてバナナとゼリーが好物。

そんな二人にご両親は「名前のように元気(快晟)に、穏やか(和佳)に、そして健康に育ってほしい」と話してくれました。

(山内 庸平)



【ご家族紹介】
前列左から～おばあちゃんの由紀子さん(57)、和佳ちゃん(1)、快晟くん(3)、おじいちゃん(58)
後列左から～お父さんの弘人さん(33)とお母さんの英美子さん(32)

谷さんは秋小麦、てん菜、玉ねぎ、メロン、春小麦、小豆など約23㌦を作付けしています。

特集

未来をつなぐ 次代の星

平成26年度

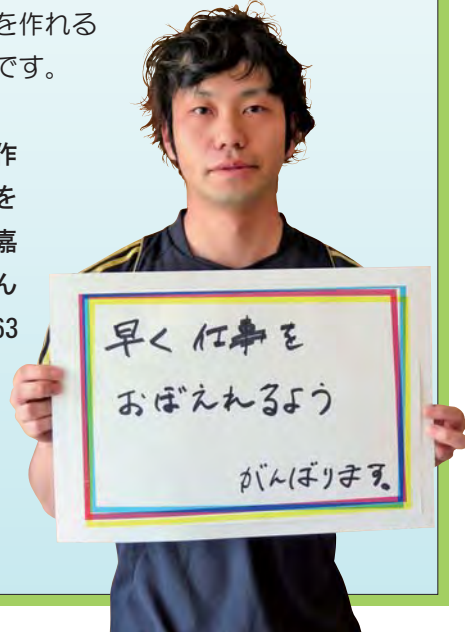
「新規就農者」紹介

本年4月後半から好天が続き、春の植え付け作業は順調に進み、組合員のみなさんは無事に植え付けを終えられたかと思えます。
そのようななか、本年度、JAきたみらいの各地域に将来を期待される6名の仲間が就農しました。
厳しい農業情勢のなか、フレッシュで頼もしい新規就農者のみなさんを抱負とともに紹介します。

訓子府地区・高園 佐藤 辰則さん

以前は北見市で整備士の仕事をしてました。エンジニアを究めるか、農業を継ぐか迷っていましたが、父の体調不良もあって就農を決意しました。地元の農業後継者に同世代が多く、戻ってきやすい環境があったのがありがたいです。今は早く仕事を覚えて、高品質な農作物を作れるようになりたいです。

辰則さんは畑作3品に高級菜豆を作付けする佐藤嘉則さん、玲子さんの長男で、昭和63年11月生まれの25歳です。
趣味は車やバイクです。



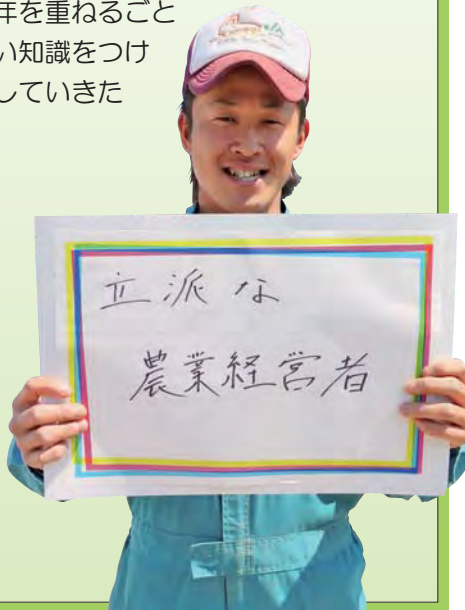
訓子府地区・大谷 三浦 健一さん

自らの意志で実家を継ぐと決め、拓殖大学北海道短期大学に進学しました。

大学卒業後すぐに就農しましたが、実際に農作業を行う上ではわからないことばかりなので、まずは仕事を早く覚えることを第一に頑張りたいです。

1年、2年と年を重ねるごとにどんどん新しい知識をつけて自分のものにしていきたいと思っています。

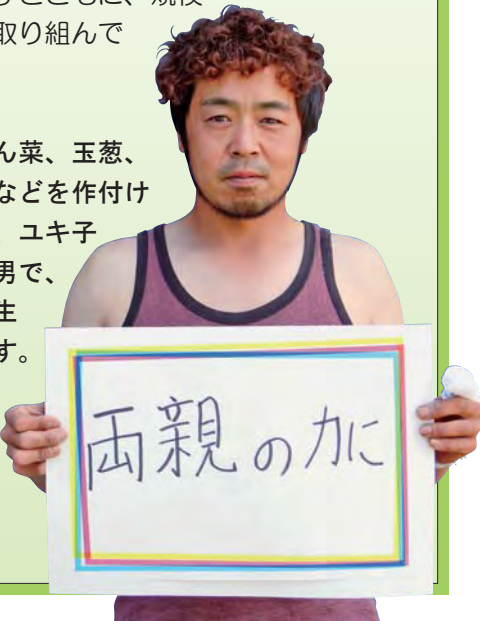
★健一さんは玉葱を作付けする裕治さん、時子さんの長男で平成5年5月生まれの21歳です。
趣味はドライブです。



上常呂地区・常川 高木 利行さん

北見市内で会社員をしていましたが、小さい頃から親の仕事を手伝ううちに、いつか両親の力になりたいという思いが強まり、昨年就農しました。就農し改めて作物管理の難しさや収穫時期の忙しさを実感しましたが、まずは既存の畑で収量増加を図り経営の安定を目指すとともに、規模拡大に積極的に取り組んでいきたいです。

★利行さんはてん菜、玉葱、小麦、馬鈴薯などを作付けする初夫さん、ユキ子さん夫妻の長男で、昭和54年12月生まれの34歳です。
趣味はモトクロス（オフロードレース）です。

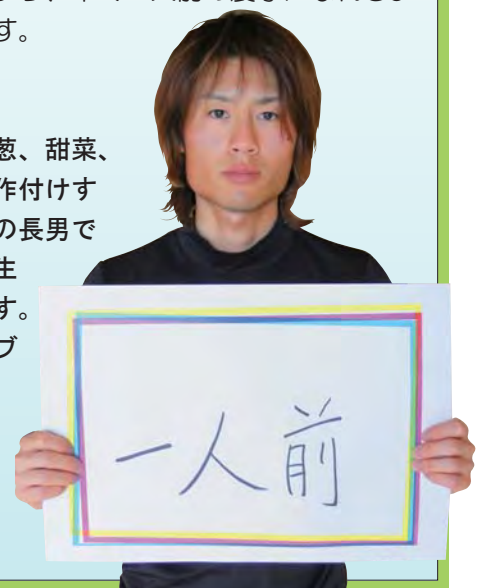


端野地区・一区 神田 祐一さん

大学卒業後、札幌で就職していましたが父が病気になったことをきっかけに、去年の9月から就農しました。

何も分からず何から何まで初めてのことが多いですが、当面は仕事になれることを目標にお母さんの負担を減らせるよう、早く一人前の農家になれるように励みたいです。

★祐一さんは玉葱、甜菜、種芋、小麦を作付けする美佐子さんの長男で昭和63年4月生まれの26歳です。
趣味はドライブです。



端野地区・二区 箱木 祐亮さん

高校卒業後、今年の3月から就農しました。きっかけは母方の祖父の後継者がいなかったの、自分が農家を継いで農業を続けていこうと思ったからです。

今後は祖父母から、できるだけ早く農業を覚えて一人前になりたいです。5年後にはおじいちゃん、おばあちゃんに楽をさせてあげられるように励み、良い玉葱を育てたいです。

★祐亮さんは玉葱を作付けする西田竹美さんのお孫さんで、平成7年7月生まれの18歳です。趣味はカラオケ、バスケです。



端野地区・協和 木村 公輔さん

大学卒業後、10年間営業職として東北地方・首都圏を中心にサラリーマン生活をしていました。北海道の自然のなかで農業をやってみたい、新しいことに挑戦したいと思い、また実家が農業を営んでいることもあり就農しました。

今は農業技術、農業経営をしっかりと身につけ早く一人前になり、地域との交流を深めていきたいと思っています。将来的にはグローバル化の流れに負けられないような地域・街づくりの振興と農業経営の確立を目指します。

★公輔さんは玉葱、馬鈴薯、甜菜、小麦を作付けする則夫さん、陵子さん夫妻の長男で、昭和55年9月生まれの33歳です。趣味はゴルフ、読書、海外旅行です。



温根湯

ふっくらと 色つやのよい白花生

～開花期での
追肥のタイミングがポイント～



▲天候に恵まれたなか、白花生の播種を行う天沼偉一さん

温根湯地区平里の天沼偉一さんの圃場では5月20日、白花生の播種作業が始まりました。今年度は2・4分の白花生作付けを予定している天沼さんは、白花生以外にも紫花生や大福も栽培しており、高級菜豆で5分の作付けを予定しております。

今後の作業について天沼さんは「今年度は播種時の土壌水分が少ないので、発芽を揃えるために鎮圧ローラーをかけます。ふっくらと色つやのよい白花生を作るには、開花期での追肥のタイミングがポイント。個々の生産者の高品質な豆の生産努力が望まれるなか、使う立場になった豆生産に心がけています」と話してくれました。

順調に生育が進めば10月から風味をおとさぬよう自然乾燥をするため、にお積みを行い脱穀作業が始まります。収穫量は反当300kgを見込んでいます。

(梅澤 大)

相内

安全・安心な イエスクリーン人参

～信頼される産地
要望に応える組織体制～



▲晴天のなか、順調に進む人参の播種作業

相内地区美園の林政則さんの圃場では5月15日、晴天が広がるなか、イエスクリーン人参の播種作業が始まりました。

今年、75坪の人参作付けを予定され、長いも、南瓜の植付けも控えており、さつそうとマイティーを走らせています。

林さんは「昨年は高温少雨で出芽や生育の遅延、根部の肥大が劣ったり、一部地域で豪雨により被害が見られ、収量・品質に影響を及ぼされた年でしたが、気象変動に負けない農業をめざして適正な輪作体系を維持していくために人参の作付けが必要。野菜づくりは、信頼される産地として市場・実需者の要望に応える組織体制づくりが重要」と話してくれました。

今後、良好な天候で順調に生育が進むと9月から収穫が始まり、安全・安心なイエスクリーン人参が消費者に届けられます。収穫量は反当2500kgを見込んでいます。

(土屋 正樹)



▲圃場の様子を確認しながら作業する長山正吉さん

豊作への 期待を込めて

～きたろまん
播種始まる～

上常呂

上常呂地区広郷の長山正吉さんの圃場では5月21日から小豆の播種作業が始まりました。

作業2日目となったこの日は気温4度、霧雨が降るなか品種「きたろまん」を播種。長山さんは9年ほど前から小豆の栽培を始め、輪作体系や播種の密度など試行錯誤を重ねながら、現在では「きたろまん」と「エリモシヨウス」を4・4分作付けしています。小豆栽培は夏の気温上昇が品質・収量アップの決め手となるため、今年の冷夏予想を心配していた長山さんですが「天候に恵まれ、良質の小豆を収穫できることを楽しみにしています」と期待を込めて話してくれました。

きたみらい豆類振興会上常呂地区連絡委員会（渡部剛代表）では約45分の作付けを予定しており、5月下旬まで作業が続きます。

(埴山 里子)

置戸 興味津々 子牛の哺乳体験

～青年部畜産部会が
食育活動～



▲哺乳体験で笑顔がこぼれる園児たち

青年部置戸支部畜産部会（片桐敏史部会長）は5月28日、置戸こどもセンター「どんぐり」にて園児達を対象に哺乳体験を行い、部員15人が参加しました。

このイベントは食育活動の一環として毎年行われており、今年で4回目の開催となりました。

園児達ははじめに、牛乳に関するクイズに挑戦。紙芝居を使った部員の説明に興味津々の様子で、質問には元気良く手を上げていました。

その後、生後3日から1週間の子牛の哺乳を行いました。初めて間近で見る子牛に、子ども達は「かわいい」と歓声を上げていました。

片桐部会長は「動物とのふれあいのきっかけとなって欲しかった。こども達には牛乳をたくさん飲んで欲しい」と話していました。

(石井 睦美)

端野

5年連続の豊作を

～順調に
田植え始まる～



▲作業に精を出す西川哲平さん

端野地区・二区の(有)西川農場では5月21日、天候に恵まれたなか田植え作業が始まりました。

今年は品種「きたゆきもち」を4・22畝作付けする予定で、後継者の哲平さんは手際良く移植機に苗を積み込み、田植えを行いました。

4月下旬からの好天もあり苗の生育も順調に進み、田植えを迎え、哲平さんは「今年の天候の行方が気になるが、5年連続の豊作を目指して、水や雑草に注意して細やかに管理を行いたい」と意気込みを話してくれました。

端野地区では水稲作付239畝を予定しており、6月上旬まで田植えが行われます。

今後は除草剤を施用し、落水して田面が露出することがないように水管理が行われます。

(高田 陽介)

北見

甘みたっぷり!
イチゴの出荷始まる

～11月下旬まで
出荷続く～



▲紅く色づいたイチゴを丁寧に収穫する公平慎一さん

北見地区では5月20日よりイチゴの出荷が始まりました。川東の公平慎一さん宅では、早朝より収穫が行われ、一面緑の中に紅く色づいたイチゴを一つひとつ丁寧に摘み取っていました。収穫開始は平年並みで、初日は1・2kg入りの化粧箱22ケースを出荷しました。

公平さんは6棟のハウスに四季成り品種「サマールレー」を栽培しており、同品種を導入して10年が経過しました。

昨年9月に苗を移植後、土壌障害で苗が枯れないように管理作業に苦労しましたが、今年も無事収穫を迎えることが出来ました。公平さんは、収穫間近に低温が続く生育の遅れが心配されたものの、「昨年よりも色づきが均一で甘さも十分です」と今年の出来に期待していました。

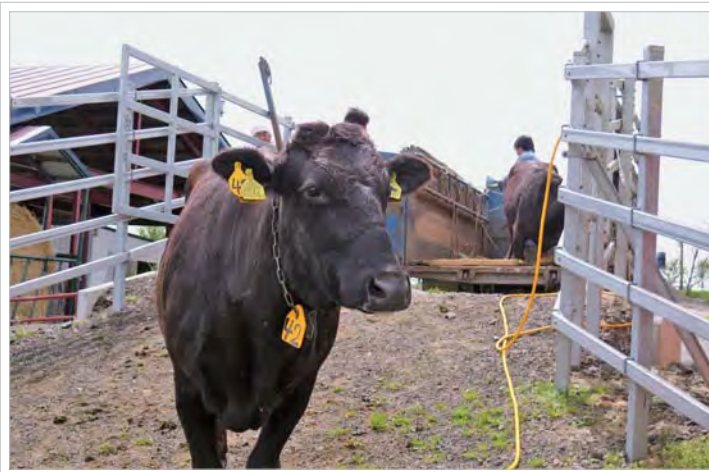
北見地区では8戸がイチゴを作付けしています。収穫は11月下旬まで続き、約15トの出荷が見込まれます。

(横田 佳織)

留辺蘂

晴天のなか
大自然を満喫して

～花園牧場に
250頭入牧～



▲トラックから飛び出す放牧牛

留辺蘂地区・花園にある市営花園牧場では5月26日、北見市、JA、運送業者等が協力し、一斉入牧が行われ、今年は約250頭の乳牛、和牛が入牧しました。

各酪農家の畜舎からトラックで輸送されてきた牛たちは、耳標番号の確認や消毒作業を終えると、それぞれ月齢ごとに分けられ放牧地へと勢よく飛び出していきました。トラックから解放された牛たちは、90畝の広大な放牧地で草を食べ、水を飲み、晴天のなか、大自然を満喫していました。

花園牧野利用組合組合長の長瀬順一さんは「今年の牧草は最高。しっかりと発情を見きわめ、より良い繁殖管理をしていきたい」と話してくれました。

10月下旬には、約5ヶ月間の放牧を終えます。栄養価の高い牧草を飽食した牛たちは、入牧時より一回りも二回りも大きくなって、それぞれの酪農家の元へ戻って行くことでしょう。

(梅澤 大)

訓子府

植え付け順調
勝負は夏場

～加工用スイートコーンの
播種が始まる～



▲増収に期待して、スイートコーンの播種を行う大畑圭吾さん

訓子府町では、5月15日からクノール食品株式会社との契約栽培を行っている加工用スイートコーンの播種作業が始まりました。早生や晩生等の品種の違いにより、6月2日まで播種作業が続き、8月のお盆前後から10月上旬にかけて収穫となります。

町内で約2・5畝を作付けする駒里地区の大畑隆繁さん、圭吾さんは「昨年は悪天候で大幅に播種が遅れてしまったが、今年は順調に植え付けが進んでいる。あとは、夏場の気温がどれだけ確保できるかだね。大幅な増収を狙ってきたい」と意気込みを話してくれました。

町内では58戸の生産者が加工用スイートコーンを作付けしており、その面積は約170畝になります。収穫後は全量がコーンパウダーに加工されます。

(山内 庸平)

わが家のアイドル



北見地区・上仁頃
ちひろ
西島 千尋くん(1歳8ヶ月)

おそとあそびが大好き!

外遊びが大好きで、天気の良い日の午前中は外で遊んでいる千尋くん。ボールを蹴ったり、庭先を走ったり、車庫の中を覗いてみたりと元気いっぱい! 可愛い表情やぐさで、まわりのみんなを笑顔にしてくれます。

車や機械も好きで、時々お父さんと一緒に車に乗ってハンドルを握らせると大喜び。当日も農業機械に乗せてもらって楽しそうにハンドルを回していました。

お姉ちゃんの若葉ちゃんとも仲良しで、お姉ちゃんのことを真似ながら遊んだり話したりします。最近は自分の三輪車よりお姉ちゃんの自転車に興味津々です。

そんな千尋くんにお母さんは、「健康が何よりです。そして人の気持ちが分かる子に育ってほしいですね」と話してくれました。(横田 佳織)

千尋くんは北見地区・上仁頃の西島剛さん・由華さん夫妻のお子さんです。

Pretty Woman ウーマン



輪を広げられるように

温根湯地区・昭栄二区
児玉 香織さん(30歳)

今回はフレミズ温根湯支部・支部長の児玉さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

◆出身・ご主人との出会いとは?

もともと温根湯が地元で、旧温根湯農協に勤めていました。年が8歳離れているので、同じ地元でも主人のことは知りませんでしたが、趣味のバレーボールで知り合い、2008年に結婚しました。主人は私と性格が真逆といっているほど穏やかな性格なので、バランスがとれているのかもしれない(笑)

◆どんな家庭?

3歳の娘が1人います。娘がとても元気で活発なので、にぎやかな家庭です! 保育園に通い始めてから、帰ってくると甘えて抱っこをせがまれたりすることもあります。主人も育児に協力してくれるので、とても助かっています。

◆趣味は?

ミシンで子どものスカートやリバーシブルの帽子づくりにハマっています。1日でできるような簡単なものですが、娘も気に入ってその日の気分で帽子を選んで保育園にかぶって行っています。また冬になったら始めようかと思っています(^ ^)

◆今後の活動に対する抱負は?

支部長になってから、他の支部の方と知り合う機会が増え、いろいろな話が聞けて勉強にもなるし、幅が広がられて良かったと感じています。支部長経験者だけでなく、西エリア再編に向けてみんなが輪を広げられるようにしていきたいです。また、今年初めて行われる「学習会」にも多くの人に参加してくれるよう促していきたいと思っています。



消費者ニーズに 敏感に

訓子府地区・清住
しょうい
平田 翔唯さん(22歳)

きたみらいの ホープさん

●趣味は?

小学校から続けている吹奏楽で、楽器はチューバを演奏しています。

あと最近、お菓子作りと料理にはまっています。

甘いものが好きで、食べなくなったら作っちゃいます。

●理想の女性は?

一緒にいて楽しい人、素敵な笑顔の人です。

●農業で学び実感したことは?

とにかく天候に左右されて大変。

●今後の抱負は?

まずは、早く一人前になること。そして、広くアンテナを張って消費者のニーズを敏感に感じ取り、消費者に信頼される農産物の生産を目指したいです。

(山内 庸平)

翔唯さんは玉葱と畑作物を作付ける康弘さん、裕美さんの長男で、就農して3年目になります。

Qお付き合いしたきっかけは?ご結婚はいつでしたか?

匠 さん…お互いの友達同士で遊んだことがきっかけで付き合うようになり、今年の6月に結婚しました。

麻美さん…第一印象は、チャライ…って思いましたけど、でも本当はすごく真面目な人で、実は付き合った時から結婚したいと思ってました。

Q思い出に残っているデートは?

麻美さん…生まれて初めて行ったディズニーランドです。タワーオブテラーに何回も乗りました。すごく空いていたので、降りてはすぐに乗り、降りてはすぐに乗り…。

匠 さん…二人とも絶叫マシンが大好きなので、遊園地に行くたびに乗り倒します。新婚旅行はハワイに行ったのですが、ワクワクとドタバタであんまり覚えてないんです(汗)。また一緒にハワイに行きたいですね。

Qお互いへの感謝の言葉

匠 さん…いつも仕事から帰ってくるとご飯を用意してくれてありがとう。エビとアボガドの春巻き麻美スペシャルがおいしかったよ。

麻美さん…洗濯物を干してくれたり家事を手伝ってくれて、感謝してます!

表情豊かな匠さんと元気いっぱいの麻美さん。玉葱畑を背景に撮影しました。(山内 庸平)



ながよし夫婦

絶叫マシンを乗り倒す

訓子府地区・清住
たくみ
齊藤 匠 さん(28歳)
まみ
麻美さん(25歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



5月号クイズの当選者

5月号のまちがいさがしの答えは「1、2、8、10、11」でした。正解者32名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・真野しず子(温根湯)さま・坂下 日彩(留辺蘂)さま
- ・畠中 清貴(置戸)さま・高谷 京子(訓子府)さま
- ・柴田ときえ(訓子府)さま・名和 純子(訓子府)さま
- ・小池エミ子(訓子府)さま・吉田 秀子(上常呂)さま
- ・重富小百合(端野)さま・杉本千恵子(端野)さま

以上の方々には、「JAきたみらい」「おひさまカレー(辛口・甘口)と玉葱醤油」をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、「JAきたみらいの「玉葱と牛すじカレー(2箱)」をプレゼントします。

今 年の播付けは驚くほど天気が続き、順調でした。ありがとうございましたね。

(匿名希望)

本当に去年とは打って変わって、天候に恵まれましたね。これからの天気にも期待したいですね！

情 報がわかりやすくてとても見やすい。特集がよかったです。

(訓子府地区・岡崎 大和さん)

お褒めの言葉ありがとうございます！これからより読みやすい広報紙作りをめざしてがんばります(^ ^)

読者の声

お ひさまカレーを食べて仕事手伝うぞ。

(北見地区・亀谷 拓矢さん)

カレーを食べると何だか元気がでますよね！私も大好きです♪今回は残念でしたが、今月号もカレーなので応募してみてくださいね。

雨 不足ですね。夏の天気が気になります。

(温根湯地区・長谷川 和子さん)

播付け後はどの地区でも雨が欲しい日が続いていました。今年は雨不足に悩まされないことを願っています。

元気な先輩

置戸地区・秋田
つねいち
渋谷 恒彦さん
(66歳)



いつも胸には“探究心”

恒彦さんは置戸高校農業科に進学し、小麦、てん菜、馬鈴薯、豆類、米を作付けていた実家を手伝いながら勉学に励みました。一時期は乳牛の飼養もしており、朝に搾乳を済ませてから学校で勉強し、帰って夕食の前に搾乳をするというハードなスケジュールをこなしていました。就農後は、経営主になるまで精力的に青年団活動に参加しました。特にオホーツクや全道の農村青年との交流では技術情報等の交換などで話が盛り上がり、貴重な経験になりました。好奇心旺盛で向上心が強かった恒彦さんは、その場で得た情報や自分が学校で習ったことが本当なのか気になり、自分で試したり、近隣の経営者に実際の現場の状況を確認に行くなど実証を欠かしませんでした。収量が落ちた時は、なぜそうなったのか常に原因を考えるようにしていたといいます。

振興会役員を務めていた頃を思い返し「大多数の意見にのまれず、広い視野を持たなければ、地区の代表として出ている意味がない」と話してくださり、青年時代の情熱と理論的で沈着冷静なご意見番としての貴録をまだまだ失っていない様子でした。(石井 睦美)

ほのぼのの広場

大きくなったら



温根湯地区・松山一区

高橋 瑞希(みずき)くん(7歳)

大工さんになりたい！

ぼくは大きくなったら大工さんになりたいです。自分で大きな家を建てて住みたいからです。

小学校では勉強も楽しいし、野球も始めました。どっちもこれから頑張りたいです。

高橋秀樹さん・宏子さん夫婦の二男です。取材中は緊張からか、恥ずかしそうでしたが、笑顔でお話してくれました。

(丸山 恵理)

思い出の写真

写真は去年の8月20日頃、オホーツクの釣り仲間と能取沖にブリ釣りに行ったときの一枚。大きさは70cmで5、6kgにもなる大物で、仲間内でも大きい方です。

初めてのブリ釣りは一昨年に上ノ国町へ行ったときで、そこでいきなり10kgオーバーのブリが6本かかる大漁を経験。それからブリ釣りにハマったそうです。

小学生の頃から川釣りをしていて、春の植え付けが終わってから釣りに行くことが多く、5年からは船釣りをしています。

上ノ国町まで7時間かけて行き、ブリ釣りをしては日帰りで帰ってくる強行スケジュールでも「好きな釣りなら苦にならない。今度は泊りがけで行きたい」と博幸さん。いつかは「九州の長崎で、4、5日かけてマグロ釣りをしてみたい」と遠大な夢を語ってくれました。さて、夢の実現はいつでしょうか。

(高田 陽介)



▲釣り上げたブリを手にご満悦
(能取沖にて)

ブリ釣りが楽しみ

端野町・協和

高橋 博幸さん(53歳)



連載 TPP交渉について①

TPP交渉はなぜ難航しているのか

東山 寛（北海道大学農学部講師）



東山 寛（ひがしやま かん）
～北海道大学大学院農学研究院講師～
経歴：北海道大学大学院農学研究院博士課程修了。博士（農学）。秋田県立大学生物資源科学部を経て2004年10月北海道大学大学院農学研究院助手。07年4月助教。13年1月から現職。1967年北海道生まれ。

TPP交渉は、昨年8月の第19回ブルネイ会合を最後に、正式な交渉会合（ラウンド）を開いていません。以降は閣僚会合に舞台を移していますが、昨年12月のシンガポール閣僚会合は事実上決裂し、仕切り直しの今年2月会合でもほとんど進展がありませんでした。5月にも閣僚会合を開催しますが、大筋合意は無理でしょう。

TPP交渉が難航している理由は3つあります。第1に、アメリカ・カナダ・日本が抱える市場アクセス（開放）問題です。アメリカにもセンシティブ（重要）品目があり、砂糖、乳製品、繊維、自動車の4つです。カナダには供給管理政策という優れた農業保護制度があり、乳製品・鶏肉・卵などの5品目を守っています。日本には「聖域」＝重要5品目等の問題があります。TPPの市場アクセス分野は二国間（バイ）で交

渉する方式をとっていますが、今の焦点は日米間の決着です。第2に、アメリカのルール分野での要求水準が高すぎることです。TPPは21の交渉分野を設定していますが、このうち知的財産（特許、著作権など）、国有企業、環境が「難航3兄弟」と言われ、一向にまとまりません。特に問題となっているのは医薬品の特許保護期間を延長する仕組みの導入や、国有企業に対する優遇措置の撤廃で、途上国が一斉に反発しています。第3に、オバマ政権がTPA（貿易促進権限）を取得していないことです。アメリカは憲法の規定により通商交渉の権限が政府ではなく議会にあります。それを一時的に政府に委ねるのがTPAです。これがなければ、TPPのような交渉を仮に政府間で妥結しても、議会での「ちゃぶ台返し」があり得ます。交渉を

まとめるためにはお互いに譲歩することが必要でしょうが、どの国もアメリカを信用して取引することができません。このTPA法案は1月にアメリカ議会に提出されましたが、民主党内では慎重派が優勢で、審議入りの見通しが立っていません。早くても11月のアメリカ中間選挙の後でしょう。共和党が議会両院で多数派となれば成立する可能性が高いのですが、そこから本格的な交渉が始まるとしても、TPP交渉は間違いなく越年するでしょう。今、オバマ政権は「早期妥結」を焦っていますが、それは選挙対策という「お家の事情」によるものです。日本はその流れに巻き込まれており、4月の首脳会談でも「日米間は妥結可能」と宣言してしまいました。5月の会合では各国から日米間の「合意」内容について、詳細な説明を求められるでしょう。憶測報道も飛び交っていますが、例えば牛肉関税の「9%」などという数字は、関税全廃を求めるアメリカの業界団体も認めないでしょうし、我々も断じて容認できません。双方の国内で認められないような交渉をこれ以上続けても無意味です。急ぐ必要はないのですから、どこかで仕切り直すべきです。

TPP交渉断固反対！オホーツク地区街頭啓発行動

JA北海道中央会北見支所と北見地区農民連盟は5月12日、北見、網走、紋別の3市で、環太平洋連携協定（TPP）交渉断固反対オホーツク地区街頭啓発行動を一斉に実施しました。TPPは農業だけでなく、暮らしに関わる重要な問題であることと市民生活への影響などを訴えました。北見市のJR駅前広場での街頭啓発には、関係者約30人が参加。TPP反対啓発活動のため用意したチラシを通行人に手渡しました。広場では6人が演説。当JAの西川孝範組合長は「農業が打撃を受けると、加工業や運送業など幅広い産業に影響が及ぶ。また、TPP交渉は農業だ



▲街頭演説を行う西川孝範組合長



▲道行く人に呼びかける留辺蘂町農民同盟加藤委員長

けでなく医療、金融、保険、労働などに大きな影響を及ぼす。いま一度みなさんとともにTPPの課題を考えてみたい」と述べました。北見地区農民連盟の川崎伸一委員長は「食料自給率が下がり、安定供給が脅かされる」と指摘。JAオホーツク女性協議会の黒須倫子理事は「残留農薬、食品添加物の規制緩和など食の安全・安心は守られるのか」と呼び掛け、オホーツクJA青年部の佐藤正人代表監事は「TPPは農家だけでなく、多くの人や子供たちの生活に関係してくる問題で、大変な危機感を持ちながらTPP交渉反対の取り組みをしています」と演説しました。

（土屋 正樹）

『玉葱ができるまで』を学習！

～北光小学校で植え付け体験～

5月21日に北見市北光小学校3年生88人が、校内にある農園で玉葱の植え付け体験学習を行いました。当初の予定日だった16日は、雨で植え付け体験が延期になってしまい、教室での学習だけになりました。初めて企画振興グループの高田職員より、苗の植え方を教わってから3列ずつ畑に入り、1人4本の苗を植えていきました。少し土が固かったため、うまく穴をあけられない子もいましたが、みんな楽しそうに植えていました。



▲玉葱の植え付けを行う北光小学校の子どもたち

また、ペットボトルでの栽培も行い、1人ひとり持ちよったペットボトルに土を入れ、大事そうに苗を1本ずつ植えていました。今後、生徒たちは、根の成長過程の観察を続けていき、「玉葱ができるまで」を年間通して学習する予定です。（丸山 恵理）

第4回 理事会報告

5月28日、午前9時より第4回定例理事会が開催され、報告事項11件、議決事項8件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（融資部門）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④人事の発令について
- ⑤夏期手当の支給について
- ⑥北見市に対する平成25年度縁故債の貸付について
- ⑦4/29降霜被害、5/6降雹被害報告及び5/16、17暴風雨・降雪被害報告について
- ⑧作況調査（5月15日）報告について
- ⑨生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑩資材推進グループ基本事業方針について
- ⑪規制改革会議「農業改革に関する意見」について

【議決事項】

- ①出資減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③夏期地区別懇談会実施日程（案）について
- ④当組合との利益相反取引に係る取扱いについて
- ⑤平成25年度JAきたみらいディスクロージャー誌の発行について
- ⑥H25年産玉ねぎの精算方法について（S規格）
- ⑦玉ねぎ輸入抑制・加工販売（全道共計）需給調整対策への対応について
- ⑧平成26肥料年度事業推進方針について

お詫びと訂正

先月号（136号）のおひさまサラダで、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

- ・2ページ 松本一彦さん ⇒松本和彦
- ・16ページ 小暮靖史さん ⇒木暮靖志

夏期地区別懇談会

～7月10日から各地区で～

平成26年度「夏期地区別懇談会」が次の日程で開催されます。懇談会は組合員みなさんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJAに反映させることを目的として開催されるものです。

農繁期でご多忙とは思いますが一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族みなさんの出席をお願い致します。

○日 程 7月10日(木)～7月16日(水)まで5日間

○時 間 午前の部 9:00～12:00

午後の部 13:30～16:30

日 程	地区事務所等	
	午 前	午 後
7月10日(木)	相 内 (2階大会議室)	上 常 呂 (1階大会議室)
7月11日(金)	留 辺 薬 (2階大会議室)	訓 子 府 (3階大会議室)
7月14日(月)	温 根 湯 (2階大会議室)	
7月15日(火)	端 野 (2階大会議室)	北 見 (センター2階大会議室)
7月16日(水)	置 戸 (町中央公民館)	



▲昨年7月12日に開催された端野地区懇談会



▲産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項

- 農耕用廃タイヤ、ホースの回収は秋に行います。

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行われます。受入日時・場所や排出区分等確認のうえ、持ち込み願います。

○受入区分

- ・農ビ類
- ・農ポリ類
- ・未洗浄農薬空容器

○受入時間

午前： 9:00～12:00

午後： 13:00～15:30

○日程

日 程	受入場所
6月17日(火)	上常呂広郷倉庫
	置戸堆肥センター
6月18日(水)	温根湯選果施設
	端野選果施設
6月19日(木)	端野選果施設
6月24日(火)	西相内小麦乾燥施設
6月25日(水)	西相内小麦乾燥施設
7月15日(火)	訓子府選果施設

※日程が合わない方は、6月24日・25日の西相内小麦乾燥施設での受入も可能です。

廃プラ回収のご案内

～6月17日から各地区で～

消費者との対話を大切に

～かあさんの朝市会 10月5日まで～

北見市かあさんの朝市会が5月25日、JAきたみらいセンター事務所特設会場で始まり、新鮮野菜を求めて約100人の市民が来場し、活気と笑顔で溢れました。

今年で22年目を迎える恒例行事となり、朝市開始に先立ち、宮島和子会長が「今年も消費者との対話を大切にしながら、新鮮な野菜や花を届けたい」と挨拶を述べました。

当日は会員12人のうち10人が参加し、ハウレンソウ、アスパラガス、山菜、花と野菜苗などをそれぞれ売り場に並べ、会員はお勧めの食べ方などを来場者に伝えるなど、訪れた市民との対話を楽しみながら対面販売しました。

初めて訪れたという北見市内の60代夫妻は「朝市が始まるのを楽



▲市民と交流しながら販売する会員

しみにしていた。旬の野菜をたくさん買っていきたい」と話し、好評でした。

今年の朝市会は10月5日までの毎週日曜日午前6時から開かれます。

エリア 地区名	西エリア			南エリア		東エリア		
	温根湯	留辺薬	相内	置戸	訓子府	上常呂	北見	端野
取材担当者	土屋正樹、丸山恵理、梅澤大	山内庸平、石井睦美	横田佳織、高田陽介、埴山里子					
ふれあい グループ 協力員	今野 健	勝山卓治	竹倉雅洋	曾我妙子	佐伯辰也	加藤正人	赤坂和幸	手塚利仁

※全道JA広報誌コンクール

昭和48年より、JA北海道中央会主催で開催。審査は3部門（広報誌の部、コミュニティ誌の部、ホームページの部）。25年度の広報誌の部のコンクール応募数は23JA。

「おひさまサラダ」2年連続最優秀賞！
25年度全道JA広報誌コンクール
組合員皆様のご理解・協力に支えられ、名誉ある賞を受賞することができました。組合員の皆様とともに受賞を喜びたいと思います。

「広報誌の部」で、当JAの「おひさまサラダ」が平成24年度に続き、6度目の最優秀賞に選ばれました。また、「コミュニティ誌の部」では、Greenが優秀賞に入賞しました。

これを契機に編集委員一同、気を引き締めて、広報活動に努めてまいります。ふれあいグループ地区担当者と連携のもと、「営農の横顔」、そして「ご家族の生活、日常」を紹介し、「地域・人との絆」情報を発信していこうと思います。

今後とも、組合員の皆様をはじめご家族の方々に、声かけさせて頂きます。どうぞ、快く笑顔でご登場頂きますようお願い申し上げます。





【材料：2人前】

スパゲティ……………160g
アジ……………2尾
ニンニク……………1片
タカノツメ……………1本
ネギ……………20cm
ズッキーニ……………1/2本
ショウガ……………少々
EVオリーブ油……………大さじ2
白ワインまたは酒……………大さじ2
塩……………適量
レモン……………1/2個
ルッコラ……………2〜3株

鰯（アジ）のスパゲティ

【エネルギー530kcal（1人分）】

【作り方】

- ①アジは3枚におろし、塩少々を振り10分ほど置き、約2cmに切る。
- ②ニンニクは芽を取り、粗みじん切り。タカノツメは種を除き小口切り。ショウガも千切り。ズッキーニは食べやすい長さに切る。ルッコラは2〜3cmに切る。
- ③フライパンに大さじ2のEVオリーブ油とニンニクを入れて火をつけ、弱火でニンニクの香りを出してからアジとタカノツメを加えて中火で炒める。
- ④アジの身が白っぽくなってきたらネギ・ショウガ・ワインを入れ、水分がなくなるまで炒める。
- ⑤鍋に湯を沸かし、1%の塩を加え、スパゲティをゆでる。ズッキーニをゆで上がり2分ほど前に鍋に入れる。
- ⑥④にゆで汁大さじ5と塩を加えて味を調え、⑤を加えてよく絡め、火を止めてレモンを絞る。
- ⑦器に取り分け、ルッコラを添える。

メモ

アジの旬は5〜7月。この時期のアジは小〜中型でとても脂が乗り、スパゲティとの相性は抜群です。ワインもしくは酒を加えてから水分がなくなるまで炒めれば、魚独特の生臭さもなくなり、うま味が増します。レモンの爽やかな香りとルッコラのわずかな苦みが、良いアクセントになります。



【材料：2人前】

トマト……………1個
アボカド……………1/2個
パイナップル……………1/4個
※トマト・アボカド・パイナップルは同量
レモン汁……………少々
EVオリーブ油……………小さじ1
白ワインビネガー……………小さじ2
塩・こしょう……………少々

カラフルサラダ

【エネルギー165kcal（1人分）】

【作り方】

- ①アボカドは真ん中の種にそって縦半分に切り、種を取り除き、皮をむいてから食べやすい大きさに切る。変色を防ぐためにレモン汁をかける。
- ②トマトとパイナップルは、アボカドと同じくらいの大きさに切る。
- ③ボウルにEVオリーブ油、白ワインビネガー、塩・こしょうを入れ、よく混ぜ合わせる。
- ④③にアボカド・トマト・パイナップルを加え、軽く混ぜ合わせ、器に盛り付ける。

メモ

「森のバター」と呼ばれるアボカドは、とても栄養価が高くヘルシーな果実です。そして「食べる美容液」とも呼ばれるほど、お肌に良い成分がたっぷり含まれています。爽やかな甘味と酸味がいっぱい詰まったサラダをお楽しみください。

★おいしいアボカドの選び方

- (1)つやがあり、大きく、ふっくらしたものを選びましょう。
- (2)皮の色が黒味がかり、触ったときにやや弾力を感じるころが食べごろです。
- (3)熟したアボカドはポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室に入れましょう。(2〜3日以内に食べましょう)

編集後記

- ・今月の「東西南北」コーナーでは、播種・定植を紹介しています。今年は天気恵まれ、春の播き付けが順調に進み、ひとまず、ほっとされているかと思います。
- ・昨年、この時期、私はJA新入職員として農家実習を行っていましたが、雪や雨が続き、畑作業のお役に立てませんでした。今思うと私のまわりは雨男・雨女ばかりだったのかもしれない。
- ・さて、6月に入り2日、3日と記録的な高温が続きました。ご家族みなさんの体調管理に十分気をつけてください。(丸山 恵理)

JAきたみらい概要

(平成26年5月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,766人
- ・組合員数(准) 5,750人
- ・組合員戸数(正) 1,157戸
- ・貯金 101,009百万円
- ・貸出金 20,620百万円
- ・出資金 5,019百万円